

# 2027年度向けブラックスタート機能の公募 ご意見に対する回答

2022年10月14日 北海道電力ネットワーク株式会社

番号	該当箇所	意見	回答
1	要綱 2. 用語の定義 (5) 一部系統ブラックスタート	(4) 全系統ブラックスタートでは「非常用発電機等を使用し」の表現があるが、(5) 一部系統ブラックスタートでは記載がない。	以下のとおり修正いたします。 「対象系統の停電時において、 <u>非常用発電機等を使用し、外部電源より発電された電気を～</u> 」
2	要綱 4. 募集容量 (1) 全系統ブラックスタート b. 募集規模 (b) 地域供給系統	地域供給系統でなく2次系統が相応しい。また、目的は系統内の電気所への所内電力の供給と考えます。(ブラックスタート機能契約書第1条(1)の記載が適切)	本公募では地域供給系統と呼称しておりますため原案通りといたします。詳しい系統については別紙をご参照ください。また、以下のとおり修正いたします。 「 <u>地域供給系統として、ブラックスタート電源から系統内の他の発電所への所内電力を供給すること</u> でまとまった電源として電圧・周波数調整を容易とし、～」
3	要綱 6. 入札の条件 (1) 契約電源等の機能 a. 全系統ブラックスタート	「入札していただく発電所は、提供期間の開始までにブラックスタート機能の提供に必要な工事や試験等が完了し、以下のすべての機能・設備を具備していることが必要です。」とあるが、基幹系統復旧のための発電所は該当するが、2次系統の発電所は該当しないものと考えます。	機能要件は、「6. 入札の条件(1) 契約電源等の機能 a. 全系統ブラックスタート」に記載のとおりですので改めてご確認ください。また、No.4のご意見に対する回答のとおり、「6. 入札の条件(1) 契約電源等の機能 a. 全系統ブラックスタート (d) 専用線オンライン信号等の送受信機能」には「2. 用語の定義(10) 専用線オンライン指令」を除いた他の信号も含まれます。
4	要綱 6. 入札の条件 (1) 契約電源等の機能 a. 全系統ブラックスタート (d) 専用線オンライン信号等の送受信機能	送信信号：現在出力、現在周波数 受信信号：電圧または無効電力目標値、出力目標値、起動、停止 とあるが、2用語の定義(10) 専用線オンライン指令からAFCに関するものと想定すると、受信信号は出力目標値のみと考えます。	「2. 用語の定義(10) 専用線オンライン指令」は、AFCに関するものとしては出力目標値が該当しますが、ご意見のあった項目は「6. 入札の条件(1) 契約電源等の機能 a. 全系統ブラックスタート (d) 専用線オンライン信号等の送受信機能」には他の信号も含むため記載のとおりといたします。
5	要綱 6. 入札の条件 (2) 契約電源等の運用 a. 全系統ブラックスタート (e) 変圧器インラッシュ対策	「ブラックスタートに必要な変圧器加圧時などに運転継続が可能であること、および系統過電圧等が発生する場合はその対策として試送電機能が必要です。」と記載があるが、本内容からタイトルは変圧器インラッシュ対策ではなく、「 <u>過昇加圧機能</u> 」等が妥当と考えます。	対策の一つとして過昇加圧が考えられますが、これに限定する必要は無いことから、変圧器インラッシュ対策という言葉が適切と考えているため、原案通りといたします。
6	要綱 8. 落札案件の決定 (1) 落札案件の決定	『「容量市場メインオークション募集要綱(対象実需給年度：2026年度)」に規定する「期待容量」および「容量確保契約金額の算出に関する経過措置における控除額」の算定方法に準じて算定した値』と記載されているが、容量市場メインオークション募集要綱だけを確認しても経過措置控除額が算定できないため、経過措置の該当有無のみを入札書に記載するようにしていただきたい。入札者が経過措置控除額の算定を誤った場合、二度手間になるだけではないか。また、経過措置の該当条件も募集要綱および提出様式内に記載していただきたい。	実際の基本料金計算時の考え方と整合をとるため、想定する経過措置控除額を提示していただく必要がありますので、原案通りとさせていただきます。また、落札後に確定した経過措置控除額を用いて基本料金を求めることとしておりますので、落札された場合は、想定経過措置控除額の正誤にかかわらず改めて算定していただけます。想定経過措置控除額算定ために参照が必要な容量市場メインオークション募集要綱の条項について、募集要綱に記載いたしましたのでご確認ください。

番号	該当箇所	意見	回答
7	要綱 9. 主な契約条件 (4) 契約者の自己都合による解約または解除に伴う費用の申し受け	契約者の自己都合による解約または解除に伴う費用の申し受け →契約者の自己都合による解約に伴う費用負担  契約解除は(3)に記載。申し受けであると受け身であり、負担の方が適切と考えます。	以下のとおり修正いたします。 (4) 契約者の自己都合による解約または解除に伴う費用負担
8	契約書 第19条 自己都合による解約または解除に伴う費用の申し受け	自己都合による解約または解除に伴う費用の申し受け →契約者の自己都合による解約に伴う費用負担  ブラックスタート機能募集要綱の意見等に合わせて	以下のとおり修正いたします。 (自己都合による解約または解除に伴う費用負担)
9	契約書 条項追加(不可抗力免責)	第19条以降に不可抗力免責についての条項を追加 (記載例) 甲は天災地変、戦争、内乱等の不可抗力による当事者の管理能力を超えた債務の不履行等により生じた損害について、賠償の責を負わない。	不可抗力により、ブラックスタート機能の提供が不可となる場合は、速やかに連絡をいただき復旧に努めていただきますが、復旧に時間を要し、契約解約または解除となる場合は、事由や復旧に向けた対応等を確認のうえ判断させていただきますので原案通りといたします。
10	提出様式 様式1 入札書	8. 想定経過措置控除額および算定式について『「容量市場メインオークション募集要綱(対象実需給年度:2026年度)」に規定する「期待容量」および「容量確保契約金額の算出に関する経過措置における控除額」の算定方法に準じて算定した値』と記載されているが、容量市場メインオークション募集要綱だけを確認しても経過措置控除額が算定できないため、経過措置の該当有無のみを記載するようにはしていただきたい。また、経過措置の該当条件も募集要綱および提出様式内に記載していただきたい。	実際の基本料金計算時の考え方と整合をとるため、想定する経過措置控除額を提示していただく必要がありますので、原案通りとさせていただきます。想定経過措置控除額算定ために参照が必要な容量市場メインオークション募集要綱の条項について、募集要綱に記載いたしましたのでご確認ください。
11	提出様式 様式1	10. 資本関係または人的関係等のあるものとの事前調整等の有無について、事前調整が「有」の場合入札が無効となるのであれば、募集要綱で禁止すればよいだけではないか。入札書にあえて有無を記載させる意図が不明。	公募の公正さを担保する観点から、入札書の様式に資本関係・人的関係ある者との事前調整の有無を記載していただきます。
12	提出様式 様式3の1、4の1、4の3、5、6	ブラックスタート機能を満足するのは水力発電所であって、火力発電所は該当しないのではないかと。	ブラックスタート機能は水力発電所・火力発電所ともに有することができるものと想定しておりますので、原案通りといたします。
13	提出様式 様式4の3	出力変化速度の単位が「様式4の3記載例」と異なります。出力の単位がkWであるため、整合性を図る目的から出力変化速度の単位をkW/minとすべきではないでしょうか。	ご指摘のとおりkW/minへ修正します。